

6 有馬富士公園及び周辺

ランク: C

生態系区分
里地里山

区分レベル
大

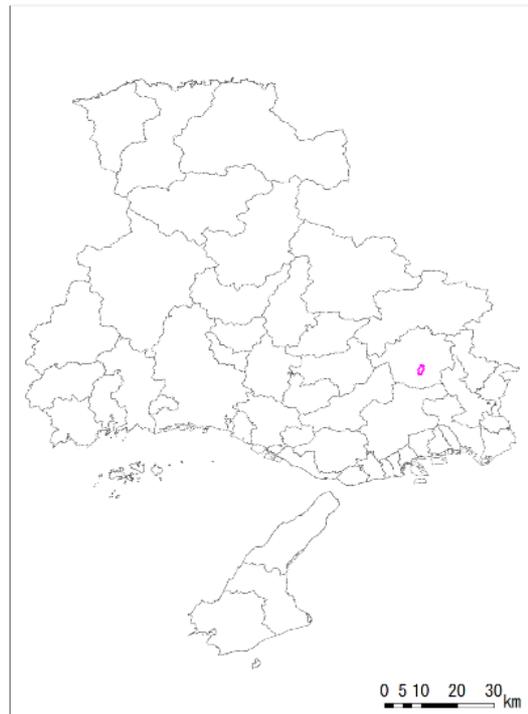
含まれる生態系(生態系区分)
湿地エリア(湿地)

市町名
三田市

場所
県立有馬富士公園
三田市立有馬富士森林公園

選定理由

希少性	多様性	特殊性	脆弱性	分布限定性	人との関わり	複合性



保全制度

-

概要

有馬富士公園は、公園面積178.2haの県立の広域都市公園で、有馬富士(標高374.0m)に隣接する。公園及び周辺には二次林を主体としたまとまりのある樹林環境が広がっている。また、谷筋の樹林下には湿地群が成立している。福島大池や棚田もあり、水辺環境や湿性環境など多様な環境が含まれている。ギフチョウなどの樹林性種や両生類、湿生植物など多様な希少種が生育・生息している。

【有馬富士公園】

公園敷地内の谷には樹林下の小河川周辺に成立する湿地群があり、湿地エリアとして保全されている。谷頭の小さな池から下流約1kmの範囲にぬかるみ状の湿地が点在し、植物ではサクラバハノキ、サワシロギク、両生類ではモリアオガエル、ヒキガエル、カスミサンショウウオ、昆虫類ではギフチョウ、ムカシヤンマ、カタツムリトビケラなど、多様な希少種が生育・生息する。都市近郊にありながら、希少種が多数生育・生育する生態系として重要である。湿地にインパクトを与えない方法での利用を検討するなど、公園として利用しつつ保全する取り組みが行われている。



写真提供: 三田市